

## 遠くからみていると

なんとなく全体の形がよくわからない大きなもの。  
とりあえず登り口をみつけて、すたすた登ってみる。  
すすむにつれ、道は幾つにも分かれていって、  
暗い道、明い道、涼しい道、暑い道なんかに分かれていく。  
はじめは暗くても、なんだか心地よくなったり、  
だんだん不快になったり ...  
いくつかのポイントを眺め、何が見えるのか、  
ゴールを楽しみにして、時には小走りになりながらも、てくてく歩く。  
道中ではいくつかの影に出会い、すれちがっていく。  
道案内をしてくれたり、一緒に歩いたり。  
おしのけられたり、おしのけたり。  
あ、ゴールだ... と空を仰いでみたら、自分の部屋の天井だった。  
う～ん、なんだかべたな夢を見たなあ。  
しかし、歩いていく先に夢の中の私は何を夢見ていたのだろうか。